

第6回 ハンセン病の医療充実に向けた講習会 開催のお知らせ

石井則久（国立感染症研究所）

小野友道（熊本保健科学大学）

ハンセン病は新規患者が年間5名程度で、ほとんどの皮膚科医は患者を診察する機会がありません。そのため、新患が受診した場合、診断するまでに長時間を要する場合があります。

一方、社会で生活しているハンセン病既往歴のある方々（ハンセン病回復者：療養所を退所した人、入所歴のない人）は約2,000人いると考えられます。これらの人々の多くはプロミンやDDSなどのスルホン剤の単剤治療が多く、高齢に近づきつつあることから、ハンセン病の再発の心配があります。

今回、皮疹の所見と皮膚スメア検査、さらに必要な場合には皮膚病理検査可能な皮膚科医を養成したいと考えています。また、ハンセン病回復者が、皮膚科を窓口として、病院でのスムーズな診療が受けられるようにしたいと考えています。すでに東京(2回)、名古屋、大阪、福岡で開催し、多くの皮膚科医が日常診療でハンセン病を鑑別することが可能になりました。

今年度は名古屋で別紙のように講習会を開催します。ハンセン病の医学面のみならず社会面も理解していただくため、ハンセン病既往歴のある方々にも参加していただく予定です。この機会に、講習会に参加していただき、今後の診療に役立てて頂きたいと願っています。

講習会参加希望の先生は、参加申込書に必要事項を記載し、メールまたはFAXで送付ください。

第6回 ハンセン病の医療充実に向けた講習会

石井則久（国立感染症研究所）

日 時： 2011年（平成23年）11月6日（日曜日）
10：00---16：00 （9:20開場、昼食の用意があります）
場 所： クラシエ薬品株式会社 中日本支店 8F
（〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie 丸の内ビルディング）
参加者： 皮膚科医及びハンセン病に関心のある医師等（参加定員：約50名）
主 催： 厚生労働科学研究費補助金（新型インフルエンザ等新興・再興感染症
研究事業、石井分担研究）、日本皮膚科学会、日本ハンセン病学会

内 容： 10：00---11：10 講義 ハンセン病外来診療の現実と問題点
11：10---12：00 講義 らい菌感染の基礎とトピック
12：00---13：00 昼食
13：00---14：00 講義 ハンセン病回復者が皮膚科医に望むこと
14：00---14：30 講義 皮膚スメア検査の方法
14：30---16：00 実習 皮膚スメアの実習 末梢神経の診療の方法
病理組織の検鏡

（すべての内容は16：00までには終了します）

講習会に出席される場合はメールまたは FAX にてお知らせ下さい。参加費は不要です。

講習会参加者には 「ハンセン病アトラス」（金原出版）、スメア検査用スライドグラス等を配布予定です。

交通費等は参加者ご本人がご負担下さい。

事務局：^{いしいのりひさ}石井則久

Tel:042-202-6003 FAX:042-391-8210 E-mail: norishii@nih.go.jp

国立感染症研究所ハンセン病研究センター センター長

〒189-0002 東村山市青葉町4-2-1

問合せ先：篠崎佳世(Tel:042-202-6009, E-mail: k-shino@nih.go.jp)

会場案内図



- JR 名古屋駅桜通口 徒歩約 20 分
- 地下鉄<桜通線> 国際センター駅 2 番出口 徒歩約 7 分
- 地下鉄<桜通線&舞鶴線> 丸の内駅 7 番出口 徒歩約 5 分

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 1-15-20

クラシエ薬品株式会社 中日本医薬支店
ie 丸の内ビルディング 8F

TEL 052-201-1304

ハンセン病の医療充実に向けた講習会に出席します

送り先（篠崎）：k-shino@nih.go.jp 又は FAX: 042-391-8210

氏名： _____

同伴の先生： _____

連絡先：

所 属： _____

所属住所：〒 _____

Tel: _____

FAX: _____

E-mail: _____